

CONTENTS

- イギリス酪農視察紀行 2
- “デリア”ファミリーの紹介 4
- 乳房炎にかかりにくい
血統は存在するか？ 6
- ジェスロ セカンドクローブ娘牛
活躍する！！ 8
- オールヨーロピアン チャンピオン
シップショー&セール報告 10
- カナダの長命性評価値の改善 11
- 気になる、平茂勝の息子牛
『北安勝23』『北勝隆25』の紹介 12
- 平成18年度(第27回)牛に係わる家畜体内
受精卵移植に関する講習会について 14
- 北海道牛受精卵移植研究会
第25回総合・研究発表会の開催案内 15
- 事業所だより 16

SIRE

サイア

7

平成18年7月15日号
2006 July
Vol.359





イギリス酪農視察紀行

平成18年6月8日～10日まで、イギリスにおける乳牛改良状況を視察しましたのでご紹介致します。



1) イギリスってどんな国?

正式名称:グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国(イングランド、スコットランド、ウェールズ、ノーザンアイルランドの4地域で構成されています。)

面積:約244,000km²(日本の約3分の2)

人口:約60,000千人

通貨:UKポンド(EU加盟国ですが、ユーロは使えません)

主な都市:ロンドン、ケンブリッジ、エディンバラ、ポーツマス、マンチェスター

ポピュラー音楽:ザ・ビートルズ、ザ・ローリングストーンズ、クイーン、エリック・クラプトン

スポーツ:サッカー、ラグビー、ゴルフの発祥の地として知られています。

2) EasyJetでイギリスへ

オランダ アムステルダムを経由し、イギリスのリバプールに入国。

利用した飛行機"EasyJet"は、欧州では低価格で人気のある航空会社のひとつで、予約はインターネット、チェ



ックインはパスポートの提示のみ、座席は自由席とその名のおりEasyさが魅力でしたが、ただし、チェックインの時間にはとても厳しく、出発予定時刻の30分前で正確に閉まります。"チェックインの遅れは絶対許されません。!!"

3) "緑の国"イギリスは保守的で伝統を重んじる国

イギリスは、樹木が多く、普段からとても緑を大切にしている国でした。

また、気候も日本と大きく変わらず、車も右ハンドル左側通行と同じなので表向きあまり違和感がありませんでした。

しかし、イギリスらしい姿を改めて実感することができました。

とあるレストランで私がアイステイーを注文しようとしたとき、同席していたイギリス人が"アイステイー!?"といかにも邪道だという素振りを見せたのです。

実は、アイステイーの起源はアメリカで、紅茶の本家であるイギリスではあまり飲まれていない様で、イギリスでは"紅茶はホットで飲むもの"、些細なことですが、イギリスにおける保守的で伝統を重んじる姿を実感させられました。

4) イギリスの酪農状況

イギリスの乳用牛飼養頭数(経産)は約200万頭といわれており、1戸当たりの飼養頭数は150頭でその多くがフリーストール牛舎でありました。

後代検定用候補種雄牛は、約150頭/年間実施されていました。

酪農家における平均乳価は約36~38円/ℓであり、現在も乳業会社との乳価交渉は随時行われているようですが、総合的に判断してイギリス酪農家経済の現状はとても厳しいとのことでした。

一方、イギリスはチーズ消費量の多い国で、従って改良目標も蛋白量と脂肪量への比重が大きく、体型面では強健性に富んだ、乳器の付着形状良く、強い肢蹄を備えた牛を目標としており、多くの酪農家は、受胎性が良く、ライフスパンの長い牛を求めていました。



5) 人工授精所 Cogent (コージェン) の視察

イギリスには主に2つの家畜人工授精所あり、今回はそのうちの1つであるコージェンに訪問しました。

コージェンは年間約80頭のヤングサイアを後代検定に掛けており、ヤングサイアの取得は、イギリス国内から約50%、アメリカから25%、他欧州国から25%とのことでした。

コージェンは、独自でMOET牧場も所有していますが、サイアアナリストのヒューイ氏(29歳)いわく、近年では遺伝スピード(世代間隔を早める)よりもカウファミリー、能力、乳器、肢蹄そして管理形質(搾乳速度、気質、体細胞数、受胎性)を重視して計画交配を行っているとのことでした。

後代検定における調整交配精液は1,000本/頭を使用し、配布後約3ヶ月間で授精協力農家(メンバー)に授精を依頼しておりました。

『後代検定精液価格は600円から800円/本の有料です。』

尚、後代検定精液の授精協力農家(メンバー)に対する奨励措置として、主要な一般精液を格安で利用できるとのことでした。

また、コージェンは雌雄判別精液(SEXED SEMEN)を販売していることでもよく知られています。

雌雄判別器械は10台の24時間フルタイムで稼働していて、受胎率は70%(未経産牛)が得られており、性比(雌生産の確率)は90%以上を保っている様でした。



6) ピクストン シャトル EX-94

シャトルは、イギリスのGenus(ジーナス)社が所有する種雄牛で、現在北米、欧州において好体型の娘牛を輩出しているエムトの息子牛です。母系はカナダのカウファミリーで、祖母のコンドンインスピレーション サリーとエアロスターの組み合わせの受精卵による母牛から誕生した種雄牛です。今回は7頭のファーストクロップ娘牛を調査しました。

娘牛は、総合的にアップスタンディングで強健性に富み、中軀は長くスタイリッシュであり、尻はやや斜尻ぎみと理想的で、肢蹄はやや直飛びみだが後肢後望、蹄の角度は良好でした。また、乳器は資質に富み中央靭帯が強く、特に前乳房の付着が強いのが特徴です。

交配には、より鋭角性を追求したものが良いと思われます。



シャトルの娘牛



シャトルの娘牛



シャトルの娘牛

7) 終わりに

過去におけるイギリス農家経済は、BSE、口蹄疫等が重なり、おそらく我々が想像する以上に厳しい状態に有ったのではないかと思われ、そのことにより乳牛改良スピードにも少なからずブレーキがかかった様でした。しかし、その間に彼らが学んだことも多く、特に、防疫体制を含めた製品に対する安全性、品質の向上、生産性の効率化が直接収益性を高めるためには欠かせない重要な役割を示すものだという事を教わった様に思えました。

(改良部 藤田 功)

“デリア” ファミリーの紹介

“デリア”の誕生

スノーエヌ・デニセス・デリアは、1986年12月にウイスコンシン州 スパータの ブリーダー・スノー牧場で誕生しました。

初産分娩は1989年春で、2歳の黒い大きなチーフ マークの娘牛“デリア”は直に体格審査でVG-89点を獲得し、訪れる人が一目で分かるほどの体高と体長があり、体積雄大で強健なフレイムを持ち、尚且つ極めて乳器の付着形状に優れた初産牛でした。

母牛は、ベルの娘牛でさほど大きな牛では無かったが、典型的なベルの娘牛よりも幅のある牛で、ベルの乳用性に富んだ肢蹄の良さと、チーフ マークの鋭角的で体積に富む、乳器の付着形状の良さを合致させた交配により誕生した最高傑作でした。

その年に開催された、ウイスコンシン州チャンピオンシップ ショウにおいて、2位でベストアダーを獲得し、多くのサイアー アナリスト達を魅了する容貌でありました。

レーガンクレスト牧場と“デリア”

レーガンクレスト牧場は、1951年にウイリアム&アンジェラ・レーガンとその家族によって設立され、アイオワ州・ミネソタ州・ウイスコンシン州にパートナーシップでトップカウファミリーを基礎牛として所有したのが始まりでした。

当時の改良目標は、強健な肢蹄と付着形状の良い乳器を強調しておりましたが、このことが少なからず今日のレーガンクレスト牧場に大きな影響を及ぼしているものと思われます。その当時、フランク・レーガン氏は、自らの牛群改良における後継牛造りとなる基礎牛を探しており、2歳の“デリア”は、正しくそれに値するものであり、手中に収めたい願望の1頭でありました。

1991年4歳丁度で2産目を分娩し、その年のウイスコンシン州スプリング ショウに再び姿を現し、グランドチャンピオンを獲得しその名は一躍脚光を浴びることとなりました。

その後、直にスノー牧場からレーガンクレスト牧場に移ることになり、現在、我々が知る『デリアファミリー』は、“デリア”が他界する2002年12月までのブリーディングにより形成されたものであります。

世界各国の家畜人工授精所から計画交配の依頼が数多く舞い込み、リードマン、テスク、メルウード、プレリユード、エルトン等が交配されました。

“デリア”を偉大なブル ダムに押し上げることになったのが、1993年にエルトンが計画交配され、翌年3月に誕生したレーガンクレスト エルトン ダーハム ETを真っ先に思い起こすことが出来ます。

ダーハムは、世界中のショウ リングで娘牛が活躍しており、息子牛も体型、特に乳器の良さと生産寿命の長さで好評を得ている署名種雄牛であります。



ジェネティクス 北海道と“デリア”

ジェネティクス 北海道では、早くから『デリアファミリー』に注目しており、体型の良さに如何に能力を組み合わせるか試行錯誤しておりました。

1993年前期にプレリユードで計画交配し、翌年、H-3331 プレリユード デルの導入を皮切りに数多くの候補種雄牛を導入してきました。

2006年5月現在公表の乳牛種雄牛評価成績内に、ジェネティクス北海道が所有する『デリアファミリー』から種雄牛が6頭公表されており、総合指数トップ40位以内に4頭ランクインしております。

どの種雄牛成績を見ても“デリア”の優れた体型形質が受け継がれております。更に能力がブレンドされ体型と能力のバランスが取れた、近年、酪農家が最も要望している、乳器&肢蹄が良く、長命で高能力という改良目標に最も近い種雄牛を生産するファミリーであると言えます。

ジェネティクス 北海道の種雄牛で、最も『デアリアファミリー』の特徴を伝えているのが、JP3H52304 ドミトリーであり、総合指数+1,799で全国第4位にランキングされており、血統を父牛で見るとランツ × ベルウッド × ブラツクスターそして“デアリア”であり、計画交配実施当初は、ランツ × ベルウッドでは能力は高いが乳器が深くなるのではとの慎重論もありました。しかし『デアリアファミリー』であり好乳器を維持できることを確信し挑んだ結果、2005年8月新規公表で総合指数全国第11位、決定得点全国第8位、乳器全国第11位にランキングされ当初の心配が一層されました。

その後4回成績が公表され、2006年5月で決定得点全国第6位、乳器全国第11位、肢蹄全国第13位にランキングされ、バランスのとれた種雄牛と言えます。

娘牛は、斉一性、乳用牛の特質に富み、乳器、肢蹄（後肢後望が平行）が良好です。

また、新規成績直後より注目を集めた大きな要因に、第4回オール九州B&Wショウで2歳ジュニア名誉賞1席 ベストアダーに輝いた、ユーコン ランツ クレスト（鹿児島県 永田修平氏所有）が上げられます。今年には更に第33回長野県B&Wショウ3歳ジュニア3位にマエダフアーム ドミトリー チロル（長野県 前田 勉氏所有）が入賞を果たしております。

また、2005年8月同期に、総合指数全国第12位のJP3H52254 デニスも公表され、血統を父牛で見るとランツ × ファアタル × エルトン × メルウッドそして“デアリア”となります。娘牛は極めて鋭角性に富み、中軀が長く充実しており、特に後乳房の幅に優れ、中央靭帯が鮮明で強いことが特徴です。能力面においては、母方祖父のファアタルの特徴が生かされ、乳蛋白率&無脂固形分率全国第2位、乳脂肪率全国第4位と乳成分率の改

良に重点を置きながら、生産寿命を高めていく種雄牛と言えます。

今春、レーガンクレスト牧場を訪問した際、日本での『デアリアファミリー』の活躍を報告し数枚の娘牛写真を見せたところ、フランク・レーガン氏は大変喜んでおり「今後の益々の活躍を期待しています。」とのことでした。



左から
マエダフアーム ドミトリー チロル(2産) 長野県/前田 勉氏 所有
ユーコン ランツ クレスト(2産) 鹿児島県/永田 修平氏 所有

- スノーエヌ・ドリーズ・デニセ EX-90
 - ↳スノーエヌ・デニセス・デアリア EX-95
 - ↳スノーエヌ・デアリアス・ダーリンET EX-94 (ブラックスター)
 - ↳レーガンクレスト・ジエッド・デボラ EX-95 (ジエッド)
 - ↳レーガンクレスト・エムイー・パターン・ジャニET (パトロン)
 - ↳レーガンクレスト・ベルウッド・ダフネET VG-85 (ベルウッド)
 - ↳♂JP3H52304 レーガンクレスト・ランツ・ドミトリーET (ランツ)
 - ↳レーガンクレスト・リードマン・ドリーET EX-90 (リードマン)
 - ↳レーガンクレスト・デビー・ジョーET EX-92 (パトロン)
 - ↳♂JP3H52307 ファーオーラ・ランツ・ダラスET (ランツ)
 - ↳レーガンクレスト・メルウッド・デラET EX-90 (メルウッド)
 - ↳レーガンクレスト・エルトン・ミミET EX-90 (エルトン)
 - ↳♂JP3H51775 レーガンクレスト・マースET (ウインチェスター)
 - ↳レーガンクレスト・エルトン・デーライトET VG-89 (エルトン)
 - ↳♂JP3H52058 レーガンクレスト・ビー・ミックET (マンフレッド)
 - ↳♂JP3H52254 レーガンクレスト・BE・ランツ・デニスET (ランツ)
 - ↳レーガンクレスト・テスク・デラ EX-90 (テスク)
 - ↳♂JP3H51402 レーガンクレスト・JB・ラモンET (ルドルフ)
 - ↳♂H-3331 レーガンクレスト・プレリユード・デルET (プレリユード)
 - ↳♂レーガンクレスト・エルトン・ダーハムET (エルトン)
 - ↳レーガンクレスト・エルトン・ドリームET VG-86 (エルトン)
 - ↳レーガンクレスト・ウイン・デルドレーET VG-86 (ウインチェスター)
 - ↳♂JP3H52477 グローブズビュー・ランツ・ダリアンET (ランツ)



アルティメイト デニス マーク 別海町泉川 (JA西春別) / 鈴木 一石氏 所有 母の父/ラングエーカースマーク テューク ET
 デンバー ジエル デニス 佐呂間町/尖戸 清則氏 所有 母の父/ウエルブルツク ジエネラル エー ET
 ハッピーウッド デニス ハイプン 中標津町/福嶋 昭憲氏 所有 母の父/ティイークイーンズ マナーマークスマン ET
 ホワイトヒル ランツ マグネット B フタゴ 猿払村/佐藤 達雄氏 所有 母の父/ロニーブルツク ボーバ マグネット ET
 YS ジエイク デニス 北 村/瀬能 剛氏 所有 母の父/ティリゴリアンク ジエイク ET

乳房炎にかかりにくい血統は存在する？

今年4月に乳房炎に対する抵抗性を高める遺伝子が見つかったという報道がなされました。これは家畜改良センター・動物遺伝研究所・道立畜産試験場の共同研究による研究成果です。記念すべき第1回目の技術開発だよりは、この『乳房炎抵抗性に関する遺伝子』についてです。

●●● 乳房炎と乳腺の免疫 ●●●

そもそも乳房炎とは、乳頭から細菌などの起因菌が進出し、生体が起す免疫反応による炎症のことです。乳頭から進出した起因菌は乳腺上皮細胞などの組織を傷つけます。これに対し生体は、傷ついた組織からサイトカインと呼ばれる物質を放出します。このサイトカインの放出によって患部に腫れが生じるのです。これに呼応するよう、患部に白血球が集まり、外部から進出した異物を排除しようと働きます。牛乳の品質低下は、これら傷ついた乳腺上皮細胞や白血球などが乳汁中に排出されるために生じるものです。

●●● 免疫反応とサイトカイン ●●●

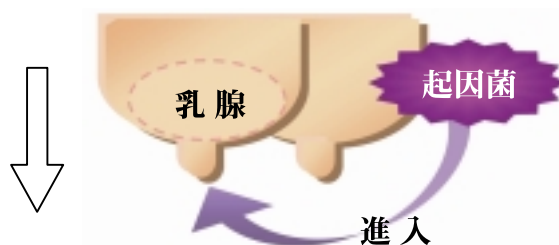
では、サイトカインとはどのような物質なのでしょう？白血球は悪者なのでしょう？

サイトカインは免疫反応において重要な役割を果たす物質の総称であり、血管から組織液を流入させ患部を腫脹させます。また、サイトカインには白血球を集める作用を持つものがあります。乳房炎においては患部、つまり乳腺においてインターロイキン(IL)、潰瘍壊死因子(TNF)などのサイトカインが大量に生産されます。これにより患部組織に白血球が集まり、白血球が乳腺に入り込むことになります。

白血球は起因菌を捕食したりすることで菌の増殖を防ぎます。サイトカイン放出に始まる免疫機構が働くことで、乳房炎の発症や悪化を防ぐことができるのです。

乳腺免疫の流れ

① 起因菌進入



② 患部からサイトカイン放出、炎症発生

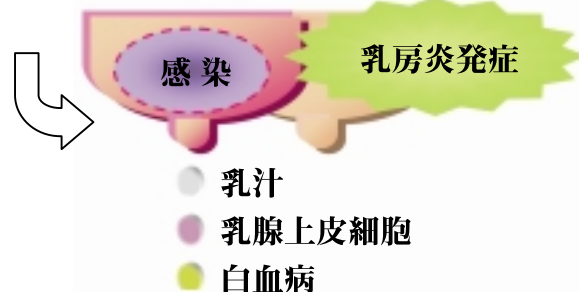


③ 血管から白血球が集まり菌の増殖を防ぐ



感染を防げなかった場合…

④ 乳汁中に体細胞混入



●●● 乳腺の免疫と遺伝子 ●●●

乳房炎研究分野では、以前から、ある遺伝子が乳房炎のかかりやすさに関係しているのではないかとされていました。その遺伝子とはFEZLと呼ばれる遺伝子です。今回報告された研究で、杉本らはFEZL遺伝子に乳房炎抵抗性の高いタイプ(12G型)と低いタイプ(13G型)があることを解明しました。

起病菌が進入すると乳腺では、FEZL遺伝子の発現が盛んになり、FEZLが産生されます。FEZLはSEMA5Aという遺伝子のプロモーター部位に結合し、サイトカインであるILやTNFなどの遺伝子が発現します。プロモーターとは遺伝子からタンパク質を作り出すスイッチの役割を持つ遺伝子部位のことです。つまり、FEZLによってSEMA5Aのスイッチが入り、免疫に関する遺伝子が作動し始めるのです。

13G型は12G型に比べて、SEMA5Aを活性化させる能力が高くありません。そのため、ILやTNFの産生量が低くなり、結果として乳房炎にかかりやすくなってしまいます。

●●● まとめ ●●●

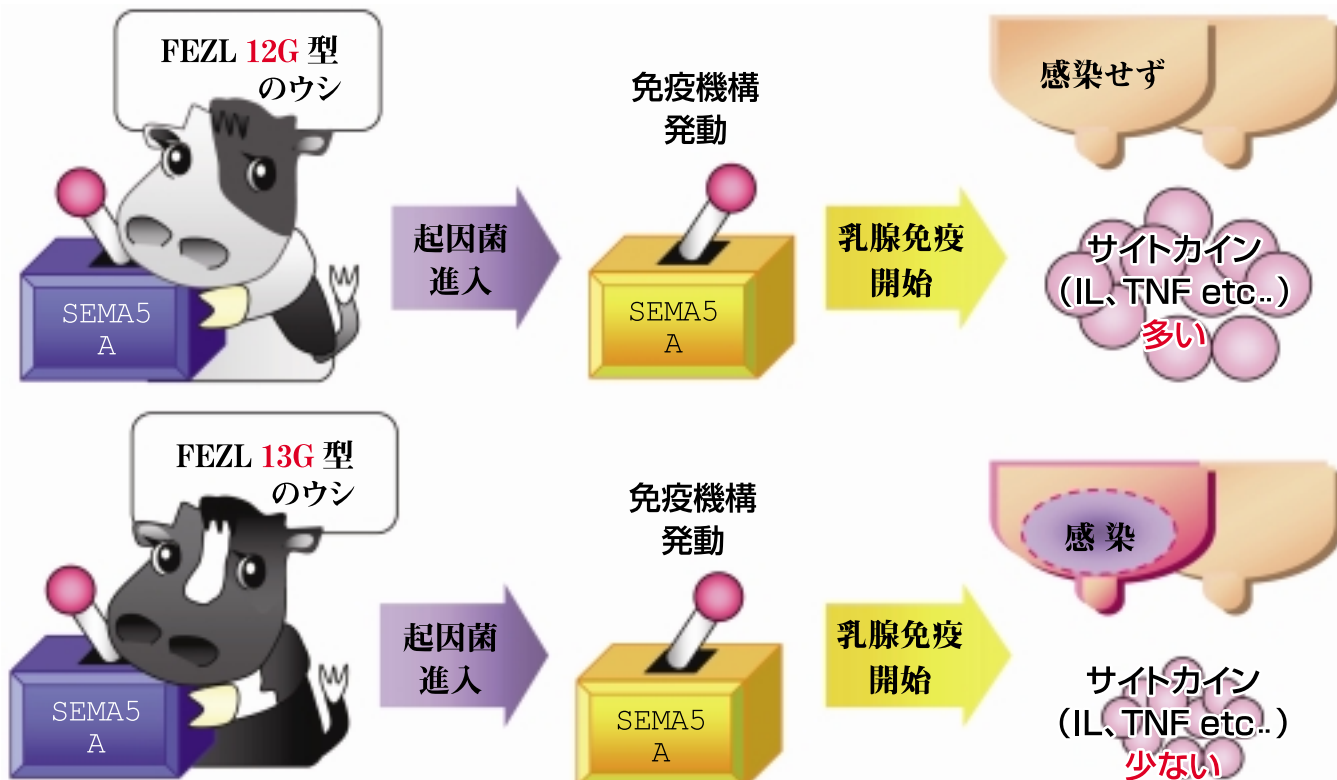
しかし、同報告からはホルスタイン種の雄も雌も12G型を持つ個体割合は少ないことが予想されます。十勝管内からランダムに選択した492頭の雌牛について、その遺伝子を調査したところ、13G型の牛の割合はおよそ91%にも上ったのです。

種雄牛に関しては現在調査中ですが、血統的な偏りも考慮すると、12G型の個体割合は雌同様少ないと予想されます。乳房炎抵抗性のある遺伝子をもつ個体自体が少ないと考えられるのです。このようなことから、現時点では血統で乳房炎の発症をコントロールすることは難しいかもしれません。

乳房炎の発症は、牛の抵抗性、起病菌の病原性、さらに環境によって左右されます。どんなに乳房炎に抵抗性を持つ牛であろうと、衛生的な管理が行われていなければ発症してしまいます。やはり、乳房炎の問題を考える上では、衛生管理を見直し、牛が快適に過ごせるような環境をつくってやるのが一番ということでしょう。

(技術開発課 山崎 崇)

遺伝子型の違いによる乳腺免疫の違い



ジエスロ セカンドクロップ娘牛が 2006年北海道B&Wショウで活躍する!!

2006年北海道ブラックアンドホワイトショウが、平成18年5月27日・28日、安平町早来の北海道ホルスタイン共進会場にて、北海道ホルスタイン改良協議会(会長 菅野秀樹氏)主催により開催されました。審査員は山田光男氏(別海町 酪農家)でした。

全道各地および府県(岩手県1頭)より209頭の優秀牛が出品され盛大に開催されました。

会場へは多くの見学者が集い道内はもとより府県、海外からお客様も訪れ、当ショウへの関心の高さが感じられました。

ジエスロの娘牛入賞成績

2歳経産ジュニアクラス

- 1-4 ミツクラン ベイビット エイミー
広尾町 (有)ミツクランデーリイ 所有
- 1-10 チャーリー ジエスロ アイオワナ
千歳市 (農)細澤 牧場 所有

2歳経産シニアクラス

- 1-4 グローリーヒル シエルブ ジエスロ
帯広市 (有)十勝ライブストック マネージメント 所有

3歳ジュニアクラス

- 1-4 クリーエーションファーム エコー ジエスロ
津別町 柏葉 俊 氏 所有

3歳シニアクラス

- 1-1 グラスラン ジエスロ ラグエレ
(ベストアダー)帯広市 オーロラ プロジェクト 所有
 - 1-6 マウントエース ロイレーン カイト
別海町 安部 克寿 氏 所有
- 以上6頭の入賞牛、おめでとうございます。



左から

2オジュニア 4位

ミツクラン ベイビット エイミー
広尾町/(有)ミツクラン デーリイ 所有
母の父/シエンバル NV LM フォーメーション ET

2オシニア 4位

グローリーヒル シエルブ ジエスロ
帯広市/(有)十勝ライブストック マネージメント 所有
母の父/シエルブルック ヘスター メージャー ET

3オジュニア 4位

クリーエーションファーム エコー ジエスロ
津別町/柏葉 俊氏 所有
母の父/ジヨウオル ビーシー セルティック

3オシニア 6位

マウントエース ロイレーン カイト
別海町/安部 克寿氏 所有
母の父/レーガンクレスト エルトン ターナム ET

3オシニア 1位

グラスラン ジエスロ ラグエレ
帯広市/オーロラ プロジェクト 所有
母の父/ハイサイツ シーエツチエル リンカーン ET

後代検定娘牛展示&パレード

今年度も、後代検定済み種雄牛セカンドクロープ娘牛6頭(ジエスロの娘5頭、ペートリアークの娘1頭)で展示・パレードが実施されました。

ジエスロの娘牛は、展示娘牛5頭全頭が上位入賞を果たす等、体積雄大で乳用牛の特質

に富み、特に乳器の付着形状の良さが際立っており、体型の均一性が高く、現在の種雄牛評価成績で決定得点および乳器改良においてNo.1種雄牛であることを充分見聞できる娘牛達でありました。



ジエスロの歩み

平成13年9月総合指数&決定得点全国No.1種雄牛としてデビューしました。

父系祖父に世界の銘牛ブラックスター、父は乳用牛の特質に富み、乳器の良さで人気を集めたジユラーで、全兄弟がロイレーン ジョーダン ETであり、共に体型の良さで注目を集めております。

以後約5年間、連続16回決定得点No.1を堅持している、平成16年セカンドクロープ公表直前に、一時、総合指数No.39位まで順位を下げましたが、

平成17年2月セカンドクロープ公表時には約200頭の娘牛で総合指数No.8、外貌No.2を除く決定得点、肢蹄、乳器、全ての体型形質No.1に返り咲きました。

セカンドクロープ成績公表より現在に至るまで、連続6回決定得点および乳器No.1を獲得しております。また、日本総合指数ベースのインターブルで、肢蹄、乳器、決定得点を体型信頼度95%以上のアメリカ、カナダの種雄牛と比較してみても、その素晴らしさを実感出来ます。

JP3H03479 ロイレーン ジエスロ ETの成績変異

総合指数	順位	M	F	F%	SNF	SNF%	P	P%	R%	決定得点	順位	外貌	順位	肢蹄	順位	特質	順位	体積	順位	乳器	順位	R%			
H13.09	1,249	1	2,098	57	-0.26	169	-0.18	56	-0.13	21/20	70%	1.64	1	0.94	4	0.60	16	2.16	1	2.16	2	1.04	6	22/19	62%
H14.03	1,236	1	1,944	50	-0.28	160	-0.13	54	-0.10	33/30	78%	1.88	1	1.34	3	0.71	4	2.58	1	2.40	1	1.24	2	31/26	68%
H14.09	1,212	4	1,883	49	-0.26	157	-0.11	54	-0.08	38/34	82%	1.63	1	1.22	4	0.67	2	2.40	1	2.40	1	1.00	10	36/30	71%
H15.03	1,153	13	1,786	46	-0.26	148	-0.11	50	-0.08	41/36	83%	1.65	1	1.41	4	0.80	5	2.38	1	2.50	1	1.11	11	36/30	69%
H15.08	1,634	25	1,341	27	-0.25	109	-0.08	35	-0.08	41/36	84%	1.93	1	1.43	5	0.90	5	2.43	1	2.67	1	1.28	10	36/30	69%
H15.11	1,716	20	1,400	29	-0.25	114	-0.08	37	-0.08	41/36	85%	1.94	1	1.42	1	0.88	2	2.44	1	2.68	1	1.29	6	36/30	69%
H16.02	1,724	24	1,397	29	-0.24	114	-0.08	37	-0.08	41/36	85%	1.92	1	1.41	4	0.87	7	2.45	1	2.71	1	1.28	11	37/31	69%
H16.05	1,746	22	1,426	31	-0.23	117	-0.08	38	-0.08	42/37	86%	1.91	1	1.39	1	0.86	3	2.43	1	2.70	1	1.27	6	37/31	69%
H16.08	1,735	39	1,482	32	-0.24	120	-0.09	38	-0.09	42/37	86%	1.82	1	1.36	4	0.87	10	2.36	1	2.34	2	1.25	11	39/32	70%
H16.11	1,780	34	1,427	30	-0.24	116	-0.09	37	-0.09	42/37	86%	1.82	1	1.27	1	0.91	3	2.01	1	2.34	1	1.37	4	56/46	76%
H17.02	1,589	8	1,140	24	-0.20	91	-0.09	29	-0.08	177/149	94%	1.91	1	1.51	2	1.06	1	1.77	1	2.31	1	1.56	1	198/148	91%
H17.05	1,783	5	1,303	35	-0.14	103	-0.12	31	-0.11	933/657	99%	2.08	1	1.85	1	0.94	3	1.67	1	2.33	1	1.83	1	502/350	96%
H17.08	1,604	10	1,127	31	-0.12	88	-0.11	26	-0.11	2,154/1,302	99%	1.99	1	1.64	1	0.86	8	1.55	2	2.16	3	1.90	1	932/594	98%
H17.11	1,594	18	1,161	32	-0.13	91	-0.11	27	-0.11	3,679/2,310	99%	1.99	1	1.59	1	0.85	4	1.55	3	2.17	2	1.88	1	1,538/974	99%
H18.02	1,600	17	1,106	31	-0.12	88	-0.09	27	-0.09	5,465/3,205	99%	2.00	1	1.55	1	0.85	5	1.47	6	2.11	2	1.99	1	2,162/1,362	99%
H18.05	1,625	13	1,150	33	-0.11	91	-0.10	28	-0.10	7,624/3,980	99%	1.97	1	1.51	1	0.82	6	1.47	6	2.08	2	2.01	1	2,776/1,753	99%

尚、網掛けは総合指数上位40位による形質別順位トップ10 赤字は、セカンドクロープ成績

日本総合指数ベース インターブル 体型95%R以上上位乳器順一覽

2006年5月 種雄牛評価成績

略号	名号	総合指数	肢蹄	乳器	得点	牛群/娘牛	R%
JP3H03479	ジエスロ	1,625	0.82	2.01	1.97	1,753/2,776	99
29H09023	ジョーダン	960	1.12	1.90	2.28	256/358	96
07H05157	ダーハム(CV)	1,228	1.54	1.87	2.21	1,974/2,860	99
07H05375	BWマーシャル	1,948	1.47	1.69	2.04	352/468	96
71H01468	ギブソン	539	0.28	1.53	1.75	177/203	95
70H00969	ルーベンス	920	1.18	1.48	1.24	457/549	97
71H01469	クスター	594	0.37	1.42	1.31	294/345	96

赤字はGH所有

現在ジエスロは、乳器改良に最も優れた種雄牛であり、体型改良面で抜群の力を発揮し、雌牛評価成績においても上位50位内に5頭のエリートカウがランキングされております。

ショウと高体型エリートカウの両面で益々の活躍が期待されております。

オールヨーロッパ チャンピオンシップ ショウ

フランス、スイス勢が大活躍!!

2年毎に開催される、オールヨーロッパ チャンピオンシップ ショウが去る6月1日、ドイツ オルデンバークで開催されました。

経産牛クラスだけの出品で開催される当共進会には、ヨーロッパ諸国11ヶ国の代表牛が参加し、第5部(48ヶ月以上54ヶ月未満)スイス所有の父カイト×母の父リーの娘牛がインターミデイエイト&グランドチャンピオンを獲得しました。



また、当共進会では見学に来る多くの酪農家の最も関心が高いイベントとして、ヨーロッパ諸国の家畜人工授精所所有の種雄牛別娘牛群9グループ(1種雄牛当たり



5~6頭)の牛群比較審査がありました。今回は開催国ドイツのグループが主で、なかでも写真掲載の『JUOTE』は父 ジュラー×母の父 クレイタスの息子牛で、日本で見るジュラーの娘牛同様に資質良く、鋭角的で乳用牛の特質に富み、乳器の付着形状良く、肢蹄も強健でしたが、サイズ的には中型でした。

最後に行われた国別対抗戦(各国4頭)は、当共進会で最も盛り上がり、エキサイトした緊張感溢れる瞬間を味わうことが出来、フランス、スイスの順でした。

当共進会を通じて、各部および国別対抗戦でもフランスとスイスの体型面の改良が進んでいる様に見受けられました。

次回(2008年)はイタリアのクレモナで開催されます。



ヨーロッパ スター セール

トップセールは北米を代表する“ギジエツト”ファミリー

上記、チャンピオンシップ ショウの前夜に開催されるヨーロッパ スター セールは、欧州および北米で活躍するカウファミリーからエリート雌牛が集結され合計35頭のエントリーのなか開催されました。

セール会場は趣向を凝らし、多くの観客が見れるようにスクリーンの利用や音響効果を含めたアイデアは見事でした。

トップセール牛は、若干3ヶ月齢のゴールドウインの雌子牛で、母牛は北米を代表する“マスコットギジエツト”ファミリーのBW マーシャルの娘牛



“ブリギーン BWM ジーナ ET”で、31,500ユーロ(約460万円)で落札されました。

尚、セールの平均価格は、6,720ユーロ(約98万円)でした。

カナダ (LPI) で改善された 長命性評価値による遺伝的選抜

B.V.DOORMAAL カナダ酪農機構部長
(ホルスタインジャーナル 2005年12月号)
訳 帯広畜産大学名誉教授 光本孝次

2006年2月から、長命性評価値の種雄牛評価値はより実娘牛数に依存し、予測部分が低下することになる。

この進歩は、カナダ酪農機構が数年間数々の研究累積結果であり、また、精確で早い長命性評価値の公表はカナダ酪農家の要望に沿うものである。

研究の進展

最大の精度を達成するための研究の第一段階は、娘牛生存性の目安に対する種雄牛評価値を提供している各国のそれとカナダの分析法の比較であった。

最近では、インターブルセンターから、長命性の種雄牛評価の国際比較値は、カナダを含む18ヶ国のホルスタイン集団それぞれ各国の評価値を基礎にしている。

その国の長命性の種雄牛評価値を推定する方法は国により異なるので、カナダ酪農機構の研究者は、カナダすべての乳牛評価に使用されているシステムに適用する場合の利点と弱点を検討した。

最初の結論は三つである

- 1) カナダで使用されているアニマルモデルは他国のそれと高い遺伝相関を示し、かつ、他の評価法と比較してより明確な遺伝トレンドを示した。
- 2) 互いに関連する娘牛生存性(初産・2産・3産時産乳)の分割は各娘牛の生産寿命まで待つよりは有効な分析結果が得られた。
- 3) どんな生存性データを考慮に入れても、分娩後2年間の待機時間は長すぎて、そして若種雄牛は最初の産乳評価値と体型評価値の公表から一年半後まで、娘牛生存データを蓄積するために待たなければならない。

改善策

カナダ酪農機構が行った、研究の第二の方法は、ふたつの弱点を克服するために牛群寿命の今までの評価システムを改善した。

第一に、牛群寿命に対する種雄牛評価値は娘牛の産乳量は牛群仲間との相対値として計算される。

この為には、今までは無かった牛群仲間偏差値が必要となる。

改善された方法では、品種毎に雌牛の数の最大化に成功し、それは乳量、乳脂量、乳蛋白量について牛群仲間のBCA偏差値を基礎にしている。

この方法では、牛群寿命評価に利用される記録が36%も増加した、それは、種雄牛当たりより多くの娘牛数に直結している。

牛群寿命評価に対する貢献度としては、データの量が重要であるが、改善第二の領域は、遺伝的評価モデルで、それは、若い証明種雄牛に対する牛群寿命評価値の精度を向上させることに重点が置かれている。

新システムは娘牛の生存性を5つの重要なカテゴリーに分けたことである。

それらは、長命性測定値として遺伝的に関連しているけれど別々に機能している。

それらの形質(能力)は次の5つである。

- 1) 初産時の分娩から120日搾乳日までの生存性。
- 2) 初産時の搾乳の120日から240日まで生存性。
- 3) 同じく初産搾乳日数240日から2産の分娩までの生存性。
- 4) 2産搾乳から3産の分娩までの生存性。
- 5) 3産搾乳から4産の分娩までの生存性。

初産分娩からこれら5形質の平均生存率は

- 1) 98%、2) 90%、3) 75%、4) 52%、5) 32%であった。

遺伝的評価では、新牛群寿命システムは、実際の生存数と初産時の搾乳120日と240日までの淘汰率を考慮している。

前と同様に2産、3産、4産分娩までの生存性は生産寿命の目安として使用され、相対的に少数の娘牛が初産の搾乳120日あるいは240日以前に淘汰されても、これらの初期情報の遺伝的差は4産までの長期情報の遺伝的差との間では78%の遺伝相関が推定されている。

極く少数の娘牛あるいは娘牛生存性データが無い種雄牛の牛群寿命の評価値には、今までの牛群寿命評価値では雌牛受精率、体細胞、搾乳速度、乳器、尻の角度、肢蹄、鋭角性のような評価値を基礎とした評価値が優先された。

新しい方法では、今までの間接評価値から、より精度に貢献する娘牛生存データを基にする評価値としている。

図1は従来のものと新しい種雄牛牛群寿命評価に貢献する年次毎の生存娘牛数の比較あり、公表種雄牛評価値に含まれる娘牛生存データの増加量はかなり明確であり、いまだに初産の搾乳期にある娘牛を保持している1999/2000と1994/1995生れの種雄牛について顕著である。

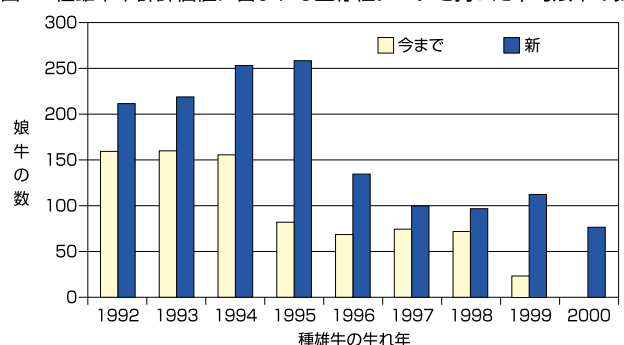
要約

より長い生産寿命に対する遺伝的選抜は大多数の酪農家にとって重要な目標であり、種雄牛の選抜に牛群寿命を加えることが実現可能と成っている。

この強化された牛群寿命に対する評価システムは2006年2月から公表され、種雄牛はより多くの娘牛データを蓄積し、新しい証明種雄牛は以前より早く、かつ、高い精度で公表される。

公表された評価値は以前よりもさらに遺伝的分散が大きくなり、また、その評価値はLPIに反映されている。

図1. 種雄牛牛群評価値に含まれる生存性データを持った平均娘牛の数



平茂勝の息子牛『北安勝23』 現場後代検定でも実力発揮!!

H黒-123『北安勝23』 父：平茂勝、母の父：安福、祖母の父：谷福土井

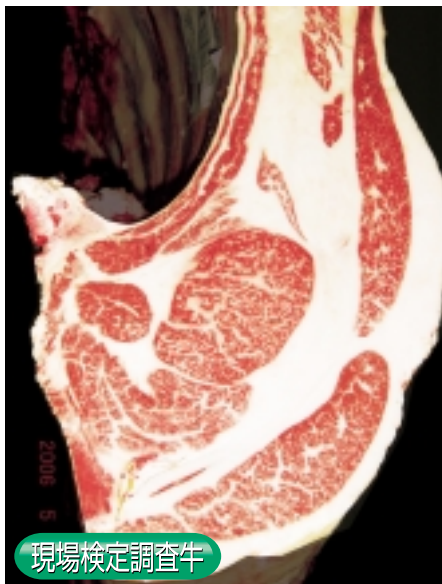
『北安勝23』は、広島県の伊藤堯牧場で誕生した種雄牛です。

本牛の間接検定成績は、平成17年10月31日終了時には、DG 0.98、脂肪交雑3.3と、昨年の脂肪交雑全国平均値3.1を上回る成績で、枝肉重量も充分であり、皮下脂肪の厚さも薄めの種雄牛でした。

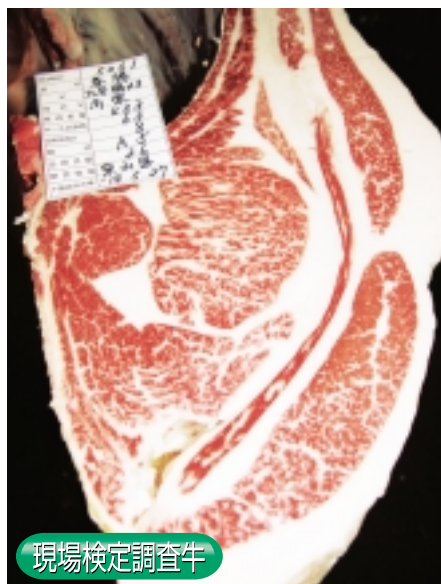
間接検定の材料牛は、全体を通じて小ザシが入っており、ロース芯面積の大きさと周辺筋のバランス、かぶりの厚さ良く、枝張り良好との評価を受けました。

本団では、『北安勝23』以降の種雄牛について間接検定と現場後代検定を併用しております。現在、現場後代検定材料牛の出荷が始まっており、38頭の材料牛のうち、18頭が出荷され、その上物率は55.6%となっております。間接検定の講評時に「この種雄牛は、現場後代検定で実力を発揮する。」という審査員の言葉を実証しつつあります。

この後、材料牛は11月出荷分で最後となりますが、残り20頭の材料牛成績が待ちどおしく、おおいに期待できる種雄牛の1頭です。



肥育者：
 (有)生田原畜産公社
性別：雌
母の父：福栄
母の祖父：初代14
枝肉重量：339kg
ロース芯面積：58cm²
BMS：No.9
格付：A-5



肥育者：幕別町
 柴山 匡氏
性別：去勢
母の父：高栄
母の祖父：安美金
枝肉重量：433kg
ロース芯面積：63cm²
BMS：No.8
格付：A-5



肥育者：中富良野町
 安井 誠一氏
性別：去勢
母の父：安金
母の祖父：美福
枝肉重量：495kg
ロース芯面積：60cm²
BMS：No8
格付：A-5

平成18年度(第27回) 牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会について

次のとおり開催しますので、受講を希望される方は受講願書等を提出してください。

記

- 1 開催者: 社団法人ジェネティクス北海道
(札幌市中央区北4条西1丁目1番地)
- 2 期 日: 平成18年10月30日(月)から11月15日(水)まで
(日曜日を除く15日間)
- 3 場 所: 財団法人清水町農業振興公社
上川郡清水町字御影南2線77番地(Tel 01566-3-2011)
- 4 講習科目: 学科 48時間 実習 76時間 計124時間
(家畜改良増殖法施行規則第23条に定められた科目及び時間)
- 5 修業試験: 平成18年11月15日(水)及び16日(木) (学科及び実習)
- 6 受講資格: 牛の家畜人工授精師(現在、免許証を所有している方)
- 7 受講人員: 25名程度
(希望者が多数の場合は、人工授精師の実務経験等を考慮して選考します)
- 8 受講手続: 受講願書、履歴書(市販様式)及び家畜人工授精師免許の写を、
(社)ジェネティクス北海道理事長あてに提出してください
・履歴書の写真は本人と確認できるものに限る
・履歴書に受講の理由を具体的に記載すること
・提出期限は
平成18年9月25日(月)必着
- 9 受講料: 60,000円
(宿泊費等は含んでおりません)
- 10 受講許可: 受講許可通知書は、本人に送付します。
- 11 宿泊場所: 希望する方には紹介します。
- 12 その他: 願書の送付先及び受講についての照会先は次のとおりです。

(社)ジェネティクス北海道・生産部
060-0004
札幌市中央区北4条西1丁目1 北農ビル
Tel 011-242-9644、Fax 011-242-9651

受 講 願 書
平成 年 月 日
社団法人ジェネティクス北海道 理事長 矢野 征男 様
所 属 本籍地 (都道府県名) 現住所 氏 名 昭和・平成 年 月 日生
⑩
牛に係る家畜体内受精卵移植に関する 講習会を受講したいので、関係書類を 添えて提出します。

[日本工業規格A4横書]

母系に気高の血を引く、 質量兼備『北勝隆25』平茂勝の息子牛!!

H黒-125『北勝隆25』 父：平茂勝、母の父：隆桜、
祖母の父：第20平茂 曾祖母の父：第33気高

『北勝隆25』は、島根県の勝部種畜場で誕生した種雄牛です。

『北勝隆25』は間接検定と現場後代検定が併用されており、平成18年1月13日に終了した間接検定成績では、DG 1.12、脂肪交雑 3.6、枝肉重量 408kgと充分で、質量兼備を実感出来る成績でした。

また、その血統には父である平茂勝をはじめ、母系からも気高の濃い流れを汲み、正に肉質に優れた気高の強い種雄牛といえます。

現場後代検定材料牛は、雌27頭、去勢8頭、合計35頭が肥育されており、出荷月齢の若い材料牛2頭(去勢・雌各1頭)が出荷され、それぞれ枝肉重量494kg、446kgであり、ロース芯面積59cm²、53cm²と充分な枝肉重量とロース芯面積を持っており、間接検定成績を大きく上回っております。

材料牛は、来年1月までに出荷を終えますが、『北勝隆25』も父平茂勝の特徴である質量兼備を遺憾無く発揮する息子牛として大いに期待を集めております。



間検調査牛

間検調査牛生産者：留寿都村 坂庭 進氏
性別：去勢
母の父：美津福 母の祖父：糸晴波
枝肉重量：429kg ロース芯面積：54cm²
BMS：No.12 格付：A-5



現場検定調査牛

肥育者：上士幌町 農協肥育センター
性別：去勢
母の父：初代14 母の祖父：第31青滝
枝肉重量：478kg ロース芯面積：52cm²
BMS：No.9 格付：A-5

北海道牛受精卵移植研究会 第25回 総会・研究発表会開催のご案内

次のとおり開催しますので、多数ご参加をお待ちしております。
記

- 1 日 時：平成18年8月22日(火) 13:00～17:00
- 2 場 所：北海道大学学術交流会館
- 3 日 程：
 - ア 定期総会
 - イ 特別講演
「性判別した体外受精胚の移植実績について」(仮題)
家畜改良事業団家畜バイテクセンター 浜野 晴三 先生
 - ウ 研究発表会
 - (1) 10題程度の発表を予定しています。
 - (2) 発表を希望する方は、事務局まで連絡をお願いします。
 - (3) 原稿(会報掲載)締め切りは、6月末日です。
- 4 参加費 会員は無料、非会員は1,000円(含資料代)
- 5 懇親会 終了後に懇親会を予定しております(百年記念会館、会費3,000円)
- 6 問合せ 北海道ET研究会事務局
〒069-8501 江別市文京台緑町582
酪農学園大学獣医学部・生産動物医療部門 担当：森好
Tel & Fax：011-388-4751 (不在の場合 011-388-4129)
E-mail:moriyosi@rakuno.ac.jp

2006年 全道・道内各地区 乳用牛・肉用牛 共進会日程

乳用牛		
地区	共進会名	開催月日
石狩	第42回 道央酪農祭ホルスタイン共進会	8月18日
空知	第58回 空知管内畜産共進会	8月27日
後志	第55回 後志乳用共進会	8月18日
渡島 桧山	第53回 道南畜産共進会	7月28日
胆振	2006年 胆振畜産共進会	8月12日
日高	第54回 全日高畜産共進会	7月29日
上川	第49回 上川管内総合畜産共進会 乳牛の部	8月26日
宗谷 留萌	平成18年度 道北ホルスタイン共進会	8月20日
十勝	第38回 十勝総合畜産共進会 乳用牛の部	8月27日
北見	第57回 北見管内総合畜産共進会	8月24日
釧路	平成18年度 釧路ホルスタイン共進会	8月26日
根室	平成18年度 根室ホルスタイン共進会	8月22日

肉用牛		
地区	共進会名	開催月日
石狩	第32回 石狩畜産共進会	7月14日
後志	第55回 後志乳用共進会	8月4日
渡島 桧山	第53回 道南畜産共進会 肉用牛の部	7月28日
胆振	2006年 胆振畜産共進会 肉用牛の部	8月12日
日高	第54回 全日高畜産共進会	7月29日
上川	第49回 上川管内総合畜産共進会 肉用牛の部	8月4日
十勝	第38回 十勝総合畜産共進会 肉用牛の部	7/18～19
北見	第57回 北見管内総合畜産共進会 肉用牛の部	7月13日

第14回 北海道総合畜産共進会
会 期 平成18年9月22日(金)～24日(日)
場 所 北海道ホルスタイン共進会場 (安平町)

第14回 北海道総合畜産共進会
会 期 平成18年9月9日(土)～10日(日)
場 所 十勝農協連家畜共進会場 (音更町)

事業所だよ 各地の新鮮な情報をお届けします!!

道央北事業所

皆さんこんにちは!今回は、留萌管内JA幌延町で活躍するお二人と道央北事業所に入った期待の新人を紹介したいと思います!～紹介～

名前:小川 寛史

出身地:広島県 福山市 趣味:バイク・空手

昨年8月1日より、JA幌延町にお世話になっております。まだまだ、至らない点ばかりですが先輩方、組合員の方々にご指導を頂き、一日も早く一人前の授精師になりたいと思っております。宜しくお願いいたします。

名前:樋岡 小百合

出身地:釧路郡 釧路町

趣味:旅行

この春、八紘学園を卒業して

4月1日より、JA幌延町に授精師

として勤めています。まだまだ駆け出しですが、先輩方や組合員の方々に日々教わりながら、牛の改良に貢献できる授精師を目指して頑張ります!



道東事業所からは中谷を迎え、さらにパワーアップした道央北事業所管内を宜しくお願い致します!

名前:原賀 俊行

出身地:神奈川県 平塚市

趣味:釣り

特徴:坊主頭

今年の4月よりジェネティクス

北海道道央北事業所に配属になりました原賀俊行です。酪農関係とは無縁の世界から飛び込んで、何も知らないことばかりです。今現在、酪農・牛に関する勉強をしております。一日も早く一人前になれる様努力を重ね、皆様のお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



十勝北見事業所

全国のみなさん、こんにちは!いつも元気いっぱい十勝北見事業所に新しいメンバーが加わりました。十勝に5年ぶり、北見に00年ぶりに帰ってきた佐々木富士雄課長と、新人の井上典子さんです。佐々木課長は今さら紹介するまでもないでしょうから、今回は若くてかわいい井上さんの紹介させていただきますね。

出身地:大阪府 堺市

趣味・特技:牛グッズ集め・温泉めぐり

出身校:酪農学園大学 酪農学科

みなさんにメッセージ:今年の4月から働くことになりました。

よろしくお祈りします。まだ研修

中で分からないことばかりです。これから色々覚えて頑張っていきたいと思っております。

ではでは、みなさんの元に配達デビューする日を楽しみにお待ちしております! 他のメンバーももちろんよろしくお祈りしま〜す。



道東事業所

皆様こんにちは!

今回は授精師として頑張っておられる二人をご紹介します。

JA西春別 佐瀬 尚弘 さん

平成18年1月よりJA西春別

生産部畜産課乳牛改良係に採用

されました『佐瀬 尚弘』です。

生年月日は1981年7月29日で現在24歳(しし座)。北海道標茶町の大自然のなかで生まれました。趣味は旅行と節約料理です。

採用されてから今日に至るまで、毎日驚きの連続であたふたした日々を送っております。一日も早く皆様のお役に立てる人工授精師を目指して日々努力していきますので、皆様よろしくお祈り致します。

JA摩周湖 松村 あき さん

本年2月よりJA摩周湖

(弟子屈町)の授精師になりました

『松村 あき』です。

酪農学園卒業後に恵庭市

福屋脩三牧場にて実習、鶴居

村乳牛検定組合に4年、道南今金町でヘルパー、酪農検定検査協会、とまこまい広域農協・早来町(現 安平町)で検定員を経て授精師となりました。現在に至るまで沢山の酪農家の方々と交流するうち、毎日の仕事に一生懸命取り組んでいる酪農家の応援団になりたいと感じてきました。

弟子屈の雄大な自然を見ながら仕事出来るのはすごく嬉しいです。まだ判断にも時間がかかってしまいご迷惑をおかけしていますが、あたたかく見守ってくれている弟子屈の酪農家みなさん、同僚の授精師に感謝する日々です。今後も酪農家の方々と一緒に考えていける授精師を目指して頑張ります。

私の趣味は美味しいものを食べる事、自然を感じる事、ギター・サンシン(沖縄の三味線)の弾き語り、沢山のひととの出会いです。これからもみなさんのご指導をよろしくお祈りします。



広域事業所

皆さんこんにちは!今年の北海道は6月中盤を過ぎても気温が上がらず、肌寒い日が続いております。農作物の生育も例年よりも1週間から10日の遅れで、もう少し暖かくなって欲しいところですが、さて、ジェネティクス北海道として5年が経過し、組織の名称もようやく馴染んでいただいようで、最近では名称の略号で呼んで頂けるようになってきました。

今後とも皆様からより信頼される「G・Hさん」になる様に職員一同頑張ります!